

ギャラリー ②

このコーナーでは、市で所有する絵画を紹介します。

「秋の庭」



吉澤儀造作 紙・水彩、額装 33.2cm×50.3cm  
小杉放菴記念日光美術館所蔵

吉澤儀造(1869~1903年)は、三重県鈴鹿郡関町(現亀山市)で生まれ、34歳という若さで亡くなった洋画家です。長い間、その名前は全くといっていいほど忘れ去られていましたが、旧日光市が小杉放菴についての調査をする過程で、放菴が東京の画塾「不同舎」へ入学するときに同伴した先輩として、偶然、存在が判明しました。後に関係者の協力もあり、遺族から水彩画とスケッチを寄贈していただきました。

この「秋の庭」と題した水彩画は、残された数少ない作品の中で、代表作ともいえる充実した作品です。小さな民家の庭に柿がたわわに実る秋の情景が、濃厚な筆使いで描かれています。鮮やかな色彩と細かな構図が織りなす緊張感、制作されてから100年以上が経った現在でも、少しも色あせることなく、見る者を魅了してやみません。

日本の美術史上では、明治時代の末ごろに水彩画の一大ブームがありました。この作品の不透明水彩による極めて克明な描写は、そのブームに先立ち、かつ異色な作品として高く評価され、各地の企画展でも注目を集めました。

日光市の文化財 26

日光市文化財マップ



平成21年3月現在、日光市には501件の文化財があり、国や県、市の指定・登録を受け、保護されています。市では、市内の数多くの文化財を皆さんに広く知っていただくため、「日光市文化財マップ」を作成しました。新聞の見開きより一回り大きい市の全域図に、文化財の位置を示すとともに、いくつかの文化財の概要や世界遺産「日光の社寺」の紹介も掲載しました。手ごろな大きさに折り畳めるため、持ち歩きにも便利です。  
新緑が美しいこの時期、文化財マップを片手に市内の文化財を散策してみたいか、文化財マップは次の施設で無料配布しています。  
○教育委員会生涯学習課  
○日光足尾教育行政事務所、藤原 乗山教育行政事務所  
○歴史民俗資料館  
○観光振興課、各総合支所観光課  
このコーナーでは今後、文化財の散策コースを紹介していく予定です。



いくつかの文化財は、概要と写真も掲載されています。

市民文芸

川柳 選者 日野原元児

猛犬の檻に子犬が眠つてる 田中孝  
繰り返す古い話を逃げる耳 藤本美佐子  
あの星の下に恋しいひとの住み 小野口英一郎  
脱ぎ捨てた下着へ今日も妻の声 青木竜雄  
一口の水に歯車廻り出す 吉新勝夫  
とりあえず今日は白旗揚げておく 福田英子  
お神輿の燃費が良くて戻らない 吉原一典

俳句 選者 須藤火珠男

暮れなむ刻歌う人あり朧月 福田美代子  
同世代は託つも似たり春炬燵 福田フミ子  
うす墨の空のキャンパス春の月 鈴木キヌ子  
大水車高鳴る春の水の音 渡辺ミチ子  
聞きなれし鉄の音色春めけり 小檜山忠  
妙齢を母に見し日の濃山吹 池田三夫  
石垣も八汐つつじも溪の景 荒井境子

題名がいっぱい

皆さんは、本の題名を意識したことありますか？ 海外作品の邦題(日本語で翻訳された本の題名)は、原題(原作の題名)の直訳ではなく、ひと工夫された題名になっていることがありますが、最近では原題をそのままカタカナにするものが多くなっているように思います。今回はこの「邦題」に着目してみましよう。



複数の題名が付けられているため、読むまで同じ作品だと気づかない方もいるようです。逆に、20人以上によって翻訳され続け、さまざまな出版社から本が出てくるにもかかわらず、一つの邦題で知られている作品が、ルイス・キャロル作の「不思議の国のアリス」です。  
さて、以下にあげるのは原題を直訳したものです。何の作品でしょうか。①小さな王子 ②二年間の休暇 ③グリーンゲイブルズのアン④昆虫学的回想録⑤諸世界の戦争⑥アースの魔法使い⑦ぼくの父さんのりゅう  
答えは、①星の王子さま②十五少年漂流記③赤毛のアン④ファールブルグ昆虫記⑤宇宙戦争⑥ゲド戦記⑦エルマーのぼうけん、です。  
本だけでなく、映画や楽曲も、原題とは違う題名が付くことがあります。海外の作品に触れるときは、題名を確かめてみてはいかがでしょうか。

短歌 選者 阿久津伸一

吹雪散る梅の花びら身に浴びて想いは遠く植えし日の亡夫 根立さとみ  
原爆の底でとり上げし重傷の産婆命とひきかえ果つ 大出喜代  
旅はいつも時を大きくくくらませ思い出のカタログつめこんでくれる 関根眞佐子  
満月の光のそぞろ我が庭にわびすけの花咲く葉がくれに 八木澤ヤイ子  
満開の桜並木を眺めきて胸の奥まで咲き満ちており 和田よし

庭前の狭き作土に健康の食の安全品揃え植う 湯沢登久栄

作品を募集しています!

川柳・俳句・短歌のを募集しています。氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、ご応募ください。応募先及びくわしくは秘書広報課 広報広聴係 ☎(21)5135 ㊟(21)5109